

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設の基本理念はあるが、その理念の意味や具体的なことがはっきりしていない。基本理念が現場での業務に直結していない。	基本理念が入居者様への援助の具体的な指針として機能できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の基本理念をベースとし、入居者様との関わりの中で指針となるような、より具体的なものを作成する。</li> <li>その理念が職員の共通理解として活用されているか、又、内容が適しているか定期的に分析、見直していく。</li> </ul>	12ヶ月
2	26	介護計画の内容が具体的で無いのと、各種記録との関連性が乏しく介護計画が援助の具体的な指針として機能していない。	介護計画の具体化と各種記録、援助の一貫性の構築。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の関わりから、その方の望むことを理解し、それを介護計画に落とし込み、具体的な内容にする。</li> <li>その介護計画を毎月のケアプラン会議の中で職員全体で周知し、見直し検討していく。又、日々の介助支援の中でも介護計画を意識し、日々の介護記録に残していく。</li> </ul>	12ヶ月
3	6	拘束しないケアの大切さを話し合い、統一したケアの実践に向けての検討が必要。	拘束しないケアの実践。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、当法人内で行う身体拘束廃止委員会に参加。2カ月に1度の運営推進会議においても、身体拘束廃止委員会を開催している。その内容を職員間で共有し、拘束しないケアへの意識継続に努めていく。</li> </ul>	12ヶ月
4	11	面会時にご家族へ意見や要望を聞いているが、入居者の日頃の暮らしぶりの話題が中心となっている。運営についての具体的な意見や要望を求めると、ご家族にも運営に関心を寄せてもらい、一緒になって入居者をサポートできる環境を作る。	御家族にも運営に関心を寄せてもらい、具体的な意見や要望を頂いていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族からどのように意見・要望を求めるか、具体的なテーマと方法(アンケートや直接聴取等)を検討する。</li> <li>運営推進会議に参加されるご家族を廻り番にするなど、できるだけ多くのご家族から意見・要望を頂けるようにする。</li> <li>ご家族からの意見・要望に対し、職員間で話し合ったことをご家族へフィードバックする仕組みを作る。</li> </ul>	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。